

05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
1健康づくりの推進	B	<p>成果指標において、後期高齢者対象の人間ドック補助件数、食生活改善推進員数は、目標値を上回っていますが、それ以外は横ばい状態となっています。市民満足度調査において、健康づくりの推進は重要度が高く、市民の関心や意識が高いことが伺われます。</p>	<p>「いしおか健康応援プラン」に基づいて、今後も健康づくりに関して普及・啓発を徹底し、事業を推進していきます。</p>
2地域医療の充実	A	<p>市民の生命と健康のため、初期救急及び第二次救急医療の運営は順調に実施しています。</p>	<p>市民へのセーフティネットの提供のために、継続して実施します。</p>
3子育て環境の充実	B	<p>児童手当、児童扶養手当、保育等の法に定められた事業については、適正に行っております。また、子育て支援事業等市が独自で行っている事業、「おむつ無料クーポン券配布」「家賃助成」については、経済的支援に貢献していくことが期待できます。この外、保育の受け皿の確保については、平成28年度から、民間保育所にて新設や増改築等の整備が進められ、特に需要の大きい0～2歳児の受け皿を拡大しております。</p>	<p>幼児期の学校教育や保育及び地域の子ども・子育て支援を総合的に推進することにより、子どもを産み、育てやすい環境作りを進めます。</p>
4高齢者福祉や介護予防の充実	B	<p>高齢者の増加に伴い、高齢者世帯や一人暮らし高齢者世帯が増加しており、要支援者及び要介護サービス利用者数は増加傾向にあります。介護保険事業では、第6期石岡ふれあい長寿プランに基づき、各種施策や事業が適正な水準で実施されています。</p>	<p>高齢者が生きがいをもって現役で過ごせるよう社会参加活動を進め、介護予防事業による高齢者の自立支援を促進し、関係機関との連携のもとで、高齢者が安心して暮らせる在宅福祉事業の充実を目指していきます。</p>

05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
5障がい者福祉の充実	A	<p>障害福祉サービスや地域生活支援事業のサービスなどにより障害者の自立や社会参加等の推進が図られています。</p>	<p>障がい者各人の障がい（特徴）を認識し、地域社会で等しく暮らせるよう健常者の理解の促進を進めていきます。</p>
6地域福祉の充実	B	<p>在宅災害時要援護者台帳登録者の地域支援者を確保することが課題ですが、台帳登録者と地域住民との関わりを見据えながら地域支援者の確保を進めていく必要があります。</p>	<p>支援が必要な住民が住み慣れた地域で今後も暮らせるよう、行政、地域住民、民生委員・児童委員、社会福祉協議会などが連携して支援をしていきます。</p>
7生活困窮者等の自立支援	B	<p>生活保護申請受理とともに、各種助言や関係機関への紹介などにより、目標達成に向けて概ね順調に進んでいます。 生活困窮者自立支援法に基づいた就労支援を行う嘱託員を配置し、年間延べ149回の就労自立に向けた面接等の対応を行いました。</p>	<p>相談員の質的な向上を図るとともに、関係機関とより連携した支援を行うことができるよう事業の充実を図っていきます。</p>
8社会保障制度の安定した運営	B	<p>国民健康保険事業では、ウォーキング大会等の生活習慣病予防活動を実施しました。特定健康診査や特定保健指導では目標値には達していませんが、受診率は前年度を上回ったことや国民健康保険税の収納率の向上がみられました。 介護保険事業では、第6期石岡ふれあい長寿プランに基づき各種施策や事業が実施され、順調に進んでいます。 また、後期高齢者医療制度、医療福祉制度では、関係機関との連携により、適切な運用が図られました。</p>	<p>関係機関との連携を図り、安定した運営に努めます。</p>

平成29年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	01健康づくりの推進
具体的取り組み例	予防接種への助成，妊婦や乳幼児健診の実施

1 総括評価

B	評価コメント
	<p>成果指標において，後期高齢者対象の人間ドック補助件数，食生活改善推進員数は，目標値を上回っていますが，それ以外は横ばい状態となっています。市民満足度調査において，健康づくりの推進は重要度が高く，市民の関心や意識が高いことが伺われます。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>「いしおか健康応援プラン」に基づいて，今後も健康づくりに関して普及・啓発を徹底し，事業を推進していきます。</p>

2 主要事業の概要

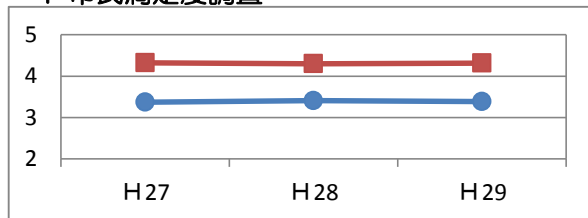
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
成人保健事業【保険年金課】	人間ドック等の受診者数は前年度比24人増の122人でした。今後も定期的な受診の推進と補助制度の周知に努め，市民が健康で安心した生活を送れるよう寄与します。
成人保健事業【健康増進課】	受けやすい健(検)診体制を整えます。生活習慣病の予防や健康づくりを推奨し，意識の向上をサポートします。
予防接種事業【健康増進課】	定期予防接種について，安全に正しく実施していきます。任意予防接種について接種費用の助成を行います。
健康づくり推進事業【健康増進課】	生活習慣病予防のため，野菜摂取量増加及び適塩の普及啓発活動等を実施します。今後も食生活改善事業を広く周知し，より多くの参加者を募ります。
母子保健事業【健康増進課】	子育て世代包括支援センターを開設し，妊娠期からの支援を充実させ，子育て相談がしやすい環境を整えます。母子保健事業は内容の充実を図ります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28(実績値)
乳児家庭訪問の実施率	4か月までの乳児のいる家庭への全戸家庭訪問	%	99.0 (H24)	99.5	98.3
自分の健康に関心のある女性	市の行なう子宮・乳がん検診を受診した女性の人数	人	4,219 (H24)	4,500	4,111
人間ドック補助件数	人間ドック・脳ドック・基本健診有脳ドックの補助件数	件	76 (H24)	145	122
健康づくりに関心のある市民	食生活改善推進員として健康づくりに関心をもち活動する人数	人	124 (H23)	130	142

4 市民満足度調査




	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	3.37	4.32
平成28年度調査	3.41	4.30
平成29年度調査	3.38	4.32

平成29年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	02地域医療の充実
具体的取り組み例	休日・夜間の診療体制の確立，第二次救急診療の当番病院への運営補助

1 総括評価

	評価コメント
	市民の生命と健康のため，初期救急及び第二次救急医療の運営は順調に実施しています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	市民へのセーフティネットの提供のために，継続して実施します。

2 主要事業の概要

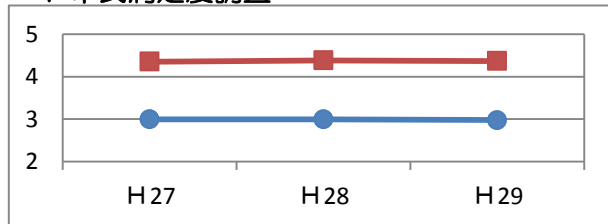
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
保健衛生一般事務費【健康増進課】	市民へのセーフティネットの提供のために，継続して実施いたします。
診療業務費【健康増進課】	市民へのセーフティネットの提供のために，継続して実施いたします。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
緊急診療・在宅当番医開設率	緊急診療等の開設予定日に対する実施率	%	100.0 (H22)	100	100
第二次救急医療病院群輪番制診療実施率	診療予定日における診療実施率	%	100.0 (H22)	100	100

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.99	4.36
平成28年度調査	2.99	4.38
平成29年度調査	2.98	4.37

平成29年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	03子育て環境の充実
具体的取り組み例	保育の受け皿の確保，児童クラブの運営

1 総括評価

B	評価コメント
	児童手当，児童扶養手当，保育等の法に定められた事業については，適正に行っております。また，子育て支援事業等市が独自で行っている事業，「おむつ無料クーポン券配布」「家賃助成」については，経済的支援に貢献していくことが期待できます。この外，保育の受け皿の確保については，平成28年度から，民間保育所にて新設や増改築等の整備が進められ，特に需要の大きい0～2歳児の受け皿を拡大しております。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	幼児期の学校教育や保育及び地域の子ども・子育て支援を総合的に推進することにより，子どもを産み，育てやすい環境作りを進めます。

2 主要事業の概要

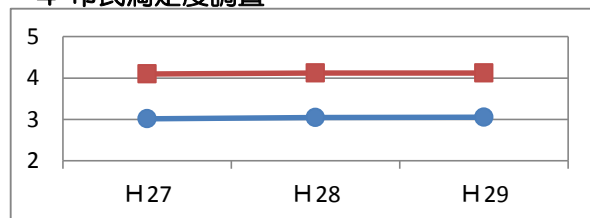
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
保育等運営経費【こども福祉課】	市町村は教育・保育の必要な児童に対して適切に場の提供をすることになっており，今後も国の単価に基づき算出された公定価格を支払っていきます。
保育支援関係経費【こども福祉課】	国の基準を遵守して事業を行っています。今後も多様化する教育・保育サービスに対応して実施いたします。
児童手当経費【こども福祉課】	制度内容の周知・申請期限など，手続きに関する通知などを引き続き丁寧に行います。現況届未提出者の削減に努めます。
児童扶養手当経費【こども福祉課】	制度内容の周知・申請期限など，手続きに関する通知などを引き続き丁寧に行います。現況届未提出者の削減に努めます。
子育て支援事業【こども福祉課】	幼児期の学校教育や保育及び地域の子ども・子育て支援を総合的に推進することにより，子どもを産み，育てやすい環境作りを進めます。
放課後児童対策事業【生涯学習課】	公立児童クラブ運営の効率化，支援員の資質向上と確保に努め，民間学童保育事業者の参入を促すため民間委託を検討していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28(実績値)
地域子育て支援センター利用者数	年間の延べ利用者数	人	13,563(H22)	15,000	27,020
待機児童数	入所資格を有するも，市内の保育所に入所ができない児童数	人	0(H22)	0	0
児童クラブ利用者数	学童保育を利用する児童数	人	549(H22)	700	702

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	3.02	4.10
平成28年度調査	3.04	4.12
平成29年度調査	3.05	4.12

平成29年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	04高齢者福祉や介護予防の充実
具体的取り組み例	介護予防活動普及のための人材育成，生涯現役で活躍できる環境づくり

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	高齢者の増加に伴い，高齢者世帯や一人暮らし高齢者世帯が増加しており，要支援者及び要介護サービス利用者数は増加傾向にあります。介護保険事業では，第6期石岡ふれあい長寿プランに基づき，各種施策や事業が適正な水準で実施されています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	高齢者が生きがいをもって現役で過ごせるよう社会参加活動を進め，介護予防事業による高齢者の自立支援を促進し，関係機関との連携のもとで，高齢者が安心して暮らせる在宅福祉事業の充実を目指していきます。

2 主要事業の概要

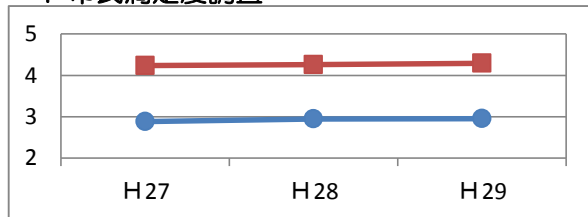
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
在宅老人サービス事業【高齢福祉課】	今後も高齢者が自立した生活を維持できるように継続的に事業の実施を行います。
介護保険特別会計（総括）	平成29年度までは現在の第6期計画に基づき事業を実施します。併せて第7期計画策定の作業を行い，平成30年度から第7期計画に移行します。
介護サービス事業会計（総括）【高齢福祉課】	国は介護サービスの効率化及び重点化を図り，必要な介護サービスの確保を掲げています。このような制度改革に合わせ，事業の展開を行っていきます。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
要支援・要介護認定者率	65歳以上の高齢者に占める要支援・要介護認定者の割合	%	16.27 (H24)	16.32	17.03
施設入所率	65歳以上の高齢者に占める施設入所者の割合	%	3.6 (H24)	3.8	3.3
ケアマネジメント数	要支援1・2等のケアプラン作成件数	件	3,394 (H22)	3,842	4,406
シルバーリハビリ体操指導士養成数	シルバーリハビリ体操指導士3級養成延数	人	0 (H22)	100	92

4 市民満足度調査




	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.88	4.24
平成28年度調査	2.95	4.26
平成29年度調査	2.95	4.29

平成29年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	05障がい者福祉の充実
具体的取り組み例	障害福祉サービス費の給付，補助装具の支給，地域活動支援センターの運営

1 総括評価

	評価コメント
	障害福祉サービスや地域生活支援事業のサービスなどにより障害者の自立や社会参加等の推進が図られています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	障がい者各人の障がい（特徴）を認識し，地域社会で等しく暮らせるよう健常者の理解の促進を進めていきます。

2 主要事業の概要

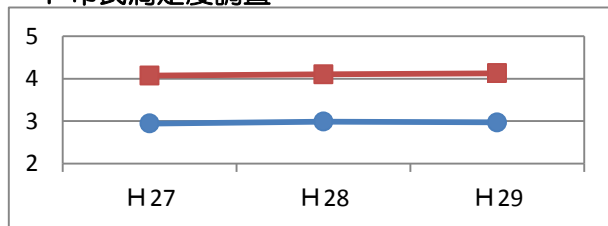
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
障害者自立支援給付事業【社会福祉課】	障害福祉サービス費の給付や自立支援医療の給付，補装具費の支給等により障害者を支え，自立や社会参加の推進が図られるため適切と考えます。
障害者地域生活支援事業【社会福祉課】	地域で生活する障害者のニーズを踏まえ，地域の実情に応じた事業を実施し，障害者の自立を支援していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
障害者就労施設への物品等発注	市や市の委託事業等で物品等を発注した障害者就労施設の数	施設数	4 (H25)	6	6
障がい者と健常者の交流	障がい者スポーツ大会へのボランティア参加者数	人	67 (H25)	90	90

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.94	4.07
平成28年度調査	2.99	4.10
平成29年度調査	2.97	4.13

平成29年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	06地域福祉の充実
具体的取り組み例	地域住民や専門家等による支援体制の整備，支援が必要な一人暮らし世帯の見守り活動

1 総括評価

B	評価コメント
	在宅災害時要援護者台帳登録者の地域支援者を確保することが課題ですが，台帳登録者と地域住民との関わりを見据えながら地域支援者の確保を進めていく必要があります。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	支援が必要な住民が住み慣れた地域で今後も暮らせるよう，行政，地域住民，民生委員・児童委員，社会福祉協議会などが連携して支援をしていきます。

2 主要事業の概要

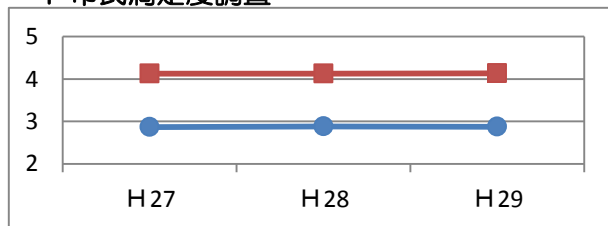
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
民生委員等経費【社会福祉課】	民生委員・児童委員が地域と行政のパイプ役となることで，援助を必要とする人が地域で自立した生活を営めるように支援します。
介護保険特別会計（総括）	平成29年度までは現在の第6期計画に基づき事業を実施します。併せて第7期計画策定の作業を行い，平成30年度から第7期計画に移行します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
災害時要援護者に対する近隣支援者数	災害時要援護者台帳に登録された近隣支援者の確保割合	%	52.8 (H25)	80	49.63
地域ケアシステムチーム数	年度内の在宅ケアチーム数	チーム	184 (H22)	180	163

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.87	4.13
平成28年度調査	2.88	4.13
平成29年度調査	2.88	4.13

平成29年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	07生活困窮者等の自立支援
具体的取り組み例	生活困窮者の求職支援、ハローワークと連携した就労支援

1 総括評価

B	評価コメント
	生活保護申請受理とともに、各種助言や関係機関への紹介などにより、目標達成に向けて概ね順調に進んでいます。 生活困窮者自立支援法に基づいた就労支援を行う嘱託員を配置し、年間延べ149回の就労自立に向けた面接等の対応を行いました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	相談員の質的な向上を図るとともに、関係機関とより連携した支援を行うことができるよう事業の充実を図っていきます。

2 主要事業の概要

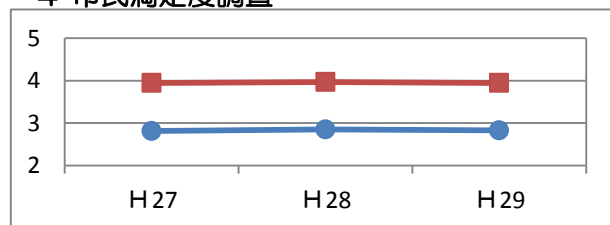
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
生活保護適正実施推進事業【社会福祉課】	国のセーフティネット支援対策事業に基づき運用していきます。
生活保護費【社会福祉課】	今後も生活保護法に基づいた事業運営を行っていきます。
生活困窮者自立支援事業【社会福祉課】	就労支援の専門員の活用やハローワークとの連携により、求職活動の支援を行い自立を促していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
就労による自立世帯数	就労した世帯のうち、増収に伴い生活保護から自立した世帯の割合	%	26 (H24)	30	22.78
生活保護廃止世帯のうち自立した世帯数	生活保護が廃止された世帯のうち自立により廃止された世帯の割合	%	38 (H24)	40	37.97

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.82	3.95
平成28年度調査	2.85	3.97
平成29年度調査	2.83	3.94

平成29年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	08社会保障制度の安定した運営
具体的取り組み例	ウォーキング大会の実施などによる生活習慣病予防活動、介護サービスの実施

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	<p>国民健康保険事業では、ウォーキング大会等の生活習慣病予防活動を実施しました。特定健康診査や特定保健指導では目標値には達していませんが、受診率は前年度を上回ったことや国民健康保険税の収納率の向上がみられました。</p> <p>介護保険事業では、第6期石岡ふれあい長寿プランに基づき各種施策や事業が実施され、順調に進んでいます。また、後期高齢者医療制度、医療福祉制度では、関係機関との連携により、適切な運用が図られました。</p>
<p>A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要</p>	今後の方向性
	関係機関との連携を図り、安定した運営に努めます。

2 主要事業の概要

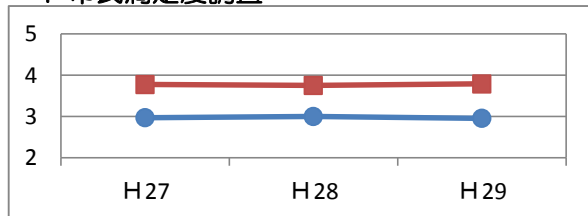
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
国民健康保険会計（総括）【保険年金課】	平成30年度から都道府県が市町村とともに国保の運営を担います。市町村は被保険者の実状を把握した上で、地域におけるきめ細かい事業を行います。
後期高齢者医療会計（総括）【保険年金課】	茨城県後期高齢者医療広域連合と連携のもと、市の担当業務を適正に進めます。徴収事務は、公平公正な保険料徴収に努め、徴収率向上を目指します。
医療福祉一般事務費【保険年金課】	今後も制度改正に留意し、条例等に基づき事業を適正に実施していきます。
医療福祉市単独事業【保険年金課】	県制度の改正も関与してくるため、制度改正等に留意し、条例等に基づき事業を適切に実施していきます。
介護保険特別会計（総括）	平成29年度までは現在の第6期計画に基づき事業を実施します。併せて第7期計画策定の作業を行い、平成30年度から第7期計画に移行します。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
国民健康保険税収納率・ (一般被保険者分)	国民健康保険税収納額／国民健康保険税調定額	%	87.3 (H22)	90	91.08
特定健康診査実施率	特定健康診査受診者数／特定健康診査受診対象者数	%	30.2 (H22)	60	36.5 (H27)
特定保健指導指導率	特定保健指導実施者／特定保健指導対象者数	%	21.3 (H24)	60	42.4 (H27)
介護（介護予防）サービス利用者数	居宅介護・地域密着型・施設サービス利用者数	人	30,196 (H22)	35,100	39,388

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.97	3.77
平成28年度調査	3.00	3.75
平成29年度調査	2.96	3.79